

第1学年 給食の時間 学習指導案

1. 題材名 すきなものだけたべないで

2. 指導にあたって

低学年の児童は、給食を大変楽しみにしており、午前中「今日の給食は何」とよく聞いてくる。自分の好きなおかずは「やったー」といって大喜びする。しかし、食べたことのない食品や、きれいな料理は残す児童も見受けられる。

小学校の6年間は成長も著しく、多くの栄養摂取が必要な時期である。しかし、小学校1年生は、まだまだ食体験が少なく偏食する児童も多い。この時期に食べ物に興味を持たせ、好き嫌いをなくしていこうという態度を育て、望ましい食習慣を身につけていくことが大切である。食品には色々な働きがあることを知り、好き嫌いしないいろいろな食品を食べることができるようにこの題材を設定した。

学校給食でよく残す食べ物がある事に気づいた後、「すきなものだけたべないで」の紙芝居で食べ残された食べ物の話し合いをとおして、好き嫌いの理由を考え、色々な食べ物の働きを知る事で、毎日を元気に過ごすために、苦手な食べ物も進んで食べようとする意欲を持つことができるようにしたい。

3. 食育の視点

○いろいろな食べものの働きがわかり、好ききらいしないで食べようとする。(心身の健康)

4. 指導計画 (全10分)

すきなものだけたべないで・・・・・・・・・・10分(本時)

5. 本時のねらい

○色々な食べ物の働き理解することができる。(知識及び技能)

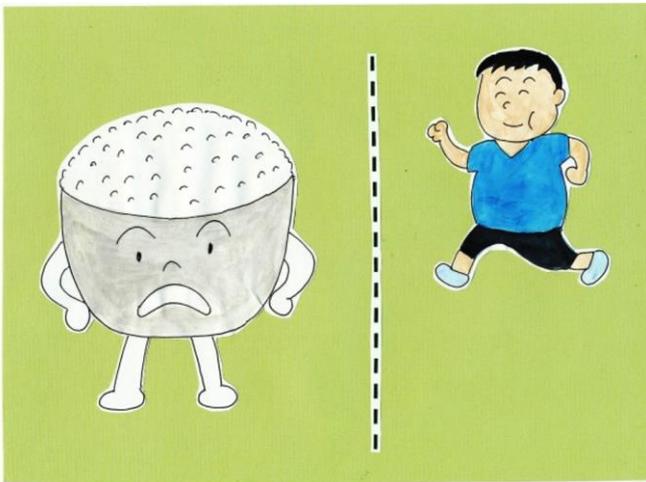
6. 本時の活動

学習内容と活動	指導上の留意点 (評価◆)	資料
1. 紙芝居「すきなものだけたべないで」の話を聞く	○紙芝居「すきなものだけたべないで」を読む。	ワークシート 給食の献立の文字カードと食品のイラストカード
2. 食べ残した食べ物の理由を考える。	○食べ残した食べ物の理由について考えるようにする。	紙芝居「すきなものだけたべないで」
3. 食べ残した食べ物の働きを考える。 ・ごはんは運動するとき、勉強するときのエネルギーになる。 ・魚は血や肉になる。また、魚のあぶらは血をサラサラにする。 ・野菜は病気の予防やお腹の中をきれいにする。	○紙芝居から食べ残した食べ物の働きをよ提起して考えるようにする。 ①ごはんは運動するとき、勉強するときのエネルギーになる。(絵を掲示する) ②魚は血や肉になる。また、魚のあぶらは血をサラサラにする。(絵を掲示する) ③野菜は病気の予防やお腹の中をきれいにする。(絵を掲示する)	食べ残された食べ物の絵と言葉の文字カード 食べ物の働きの絵と文字カード
4. まとめと振り返りをする。	◆色々な食べ物の働きを理解している。(知識・技能) ○好ききらいしないで食べて、毎日を元気に過ごせることができるように付け加える。	

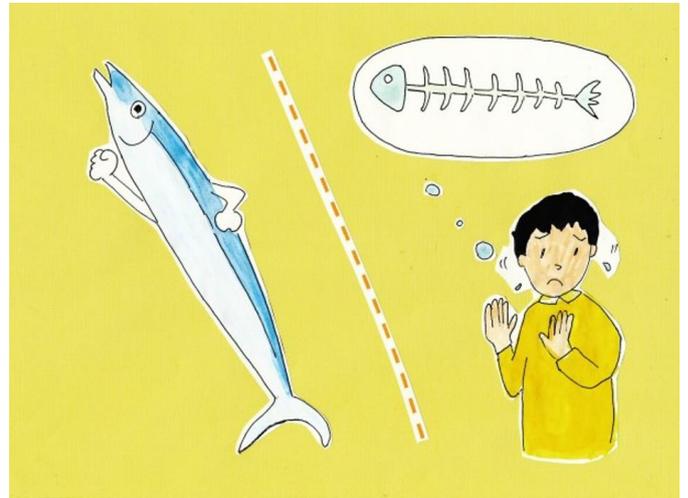
7. 板書計画



掲示資料 (印刷はパワーポイント資料より可能)



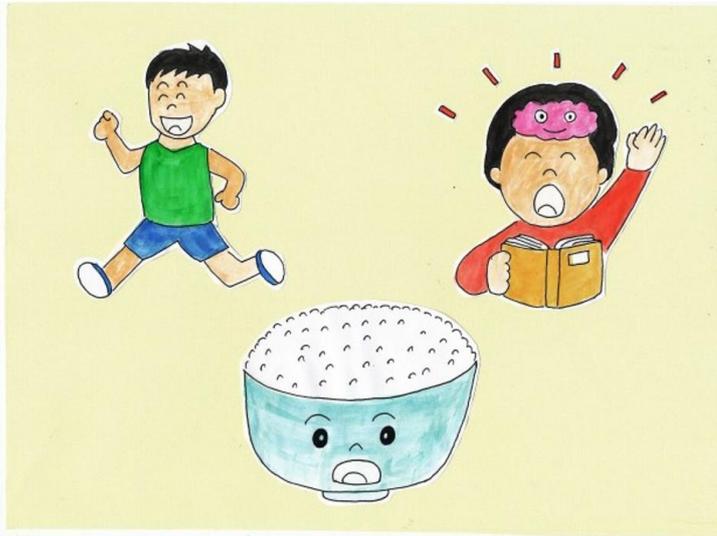
こえる からたべない



ほねがあるからきらい

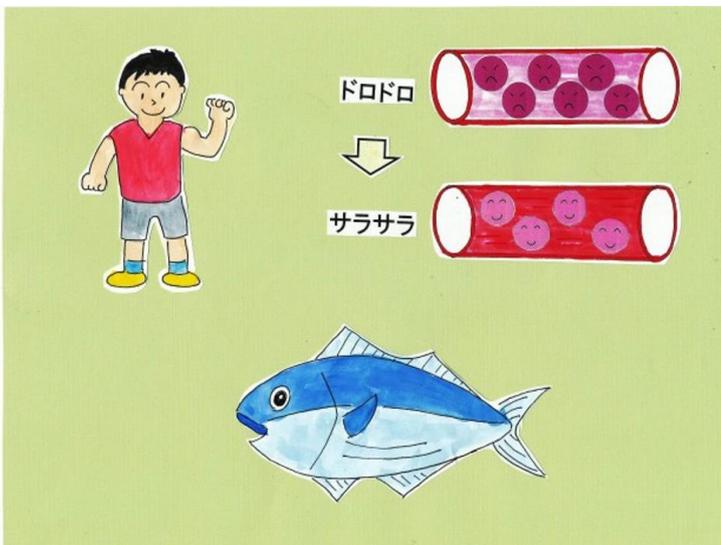


あじやにおいがきらい



うんどうするときの
ちからになる

べんきょうするときの
あたまのエネルギー
になる



からだをつくる「ち」
や「にく」になる

「ち」をサラサラにする



びょうきにならない
ようにする

おなかのなかを
きれいにする